

登録医療機関ご紹介



医療法人平祐会
きむら泌尿器・腎臓内科クリニック

皆様にご愛顧いただき開院6周年を迎えました。「やさしい医療」をモットーに、病状が不快感につながりやすい泌尿器の専門医として、地域の皆様に安心してご相談いただけるよう努めております。泌尿器がんの早期発見に注力し、膀胱鏡検査や前立腺生検を行い、基幹病院と連携を図りながらスムーズな医療に取り組んでおります。

また本年1月には、診療棟隣に日帰り手術と排尿リハビリテーションを行う新棟が完成いたしました。尿路結石治療（レーザー・体外衝撃波）、前立腺水蒸気治療をはじめ各種手術をプライベートな環境を整え、ゆったりと治療を受けていただけるようにしております。今後ともよろしく願いいたします。

理事長 院長 木村恭祐



きむら泌尿器
腎臓内科
クリニック

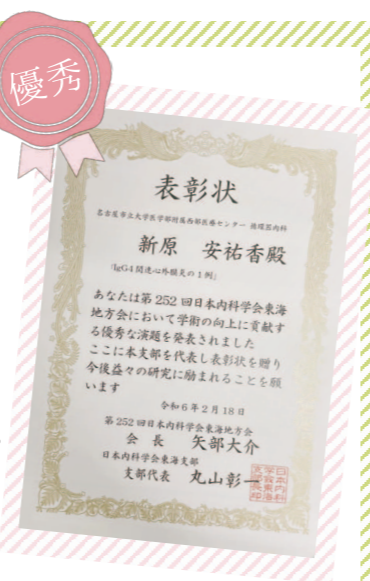
ADD: 北名古屋市久地野北浦98-1
TEL: 0568-27-3788
HP: <https://kimura-uro-clinic.com/>

※「登録医ご紹介」への掲載希望がございましたら地域医療連携センター小谷（おだに）までご連絡ください。

西部トピックス

当院1年目研修医の新原安祐香先生が
優秀演題賞を受賞しました。

2024年2月に岐阜で開催された第252回内科学会地方会で、当院の新原安祐香先生が発表した「IgG4関連心外膜炎の一例」が優秀演題賞に選ばれました。IgG4関連疾患は本邦から疾患概念が報告された原因不明の免疫疾患で、今回、心外膜に局限した希な一例を報告しました。当院のリウマチ・膠原病内科、循環器内科、呼吸器外科、病理診断科が協力して診断し、担当した研修医の新原安祐香先生が鑑別診断を詳細に検討して発表し受賞しました。



名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター
〒462-8508 名古屋市北区平手町1丁目1番地の1

TEL: 052-991-8121 (代表)
FAX: 052-856-0049 (地域医療連携センター)
※診療予約

<https://www.west-medical-center.med.nagoya-cu.ac.jp>



西部医療センター地域医療連携 NEWS 2024年6月号
〈編集担当〉地域医療連携センター 小谷純子 浅井瑞葉

名古屋市立大学医学部附属
西部医療センター
地域医療連携 NEWS



◆目次◆

- 乳腺外科《頭皮冷却システム導入》……………1
- 皮膚科《乾癬治療ケアセンター》……………2・3
- 登録医療機関ご紹介《きむら泌尿器・腎臓内科クリニック》…4
- 西部トピックス……………4

《基本理念》
地域に根差した大学病院として、
高度かつ安心な医療を提供するとともに
優れた医療人を育成します。



PAXMAN頭皮冷却システム導入

乳腺外科
PAXMAN

がん治療中に化学療法を受ける患者さんが、発毛の減少や抜け毛を軽減するために使用される医療機器として頭皮冷却システムが承認されています。当院化学療法室においても2024年6月から**PAXMAN頭皮冷却システム**を導入いたします。乳がんの化学療法において、脱毛が50%程度に軽減されることが報告されています。脱毛を懸念されている患者様に対する選択肢の一つとお考え下さい。



施行費用

- ① 当施設における頭皮冷却の処置料：
15,700円（税別）／1回につき
- ② 使用するクーリングキャップ費用：
90,000円（税別）／1個につき



病院長補佐
乳がん治療センター長
臨床研究支援センター長
診療科部長・准教授
杉浦 博士

セカンドオピニオン外来開設 月曜日15:00～16:30

令和6年4月より、乳腺・内分泌外科ではセカンドオピニオン専用外来を開設しました。ご希望の患者様がいらっしゃいましたら是非ご相談ください。

担当医：岩田 広治

現 名古屋市立大学大学院医学研究科 特任教授
前 愛知県がんセンター 副院長・乳腺科部長

※ご予約は地域医療連携センターへ

FAX: 052-856-0049

申込書はこちら→



皮膚科

乾癬治療ケアセンター

開設いたしました



名古屋市立大学医学部附属西部医療センターでは、令和6年4月1日に乾癬患者さんの診断及び集学的治療に寄与することを目指して、東海地方初となる『乾癬治療ケアセンター(Center for psoriasis treatment and care)』を開設いたしました。

【設置趣旨】

乾癬は皮膚に特徴的な皮膚症状をもたらす慢性の皮膚疾患で、日本での罹病率は約0.3~0.4%で、患者数は約40万~50万人とされる疾患です。遺伝的な要因と環境要因から発症するとされていますが、関節炎や高血圧、糖尿病など多くの併存症を合併しやすいことも知られてきており、集学的な医療が求められています。

治療については、生物学的製剤治療などの効果的な治療が承認されており、全身管理を要する疾患であることから、世界的にも乾癬センターの設置は増えてきています。しかし、日本においてはまだまだ数施設に留まり、東海地区にはないのが現状です。そのため複数の診療領域と連携し、評価を行い、将来の併存症をなくすこと、数ある治療を最適化することを目標に本センターを開設いたしました。

【特色】

- ・ 地域医療連携・相談支援室にご紹介いただき、完全予約制（火曜午前、金曜午前、水曜午後）で診療を開始します。
- ・ 初診時から治療に至るまで乾癬に精通した日本皮膚科学会専門医、またその他各診療科の専門医が一貫して診察することにより、適切な医療を提供します。例）乾癬と診断されたが満足いく治療が行えていない方、乾癬で治療してきたものの、皮膚症状以外の関節症状が合併している方など

診療の流れ

スタッフによる問診、既往歴、内服歴の確認

皮膚科医師（診察）

関節炎 疑い → 画像評価（関節エコー・Xp・CT・MRI・PETなど）

なし ↓

採血・Xp・CT

膠原病内科・整形外科

併存症の確認

各科へ受診

治療法の決定

イメージ

一般病院ではできない
東海地区では初

乾癬治療 ケアセンター

資金
共同研究

企業

治験

近隣施設
クリニック

患者



皮膚科
リウマチ膠原病内科
整形外科
内分泌・糖尿病内科
循環器内科
消化器内科
腎臓内科
放射線科
眼科
精神科
産婦人科・小児科
検査部・栄養管理課・地域医療連携・薬剤部・医師事務

将来併存症がなくなるような
集学的医療の提供



01 information



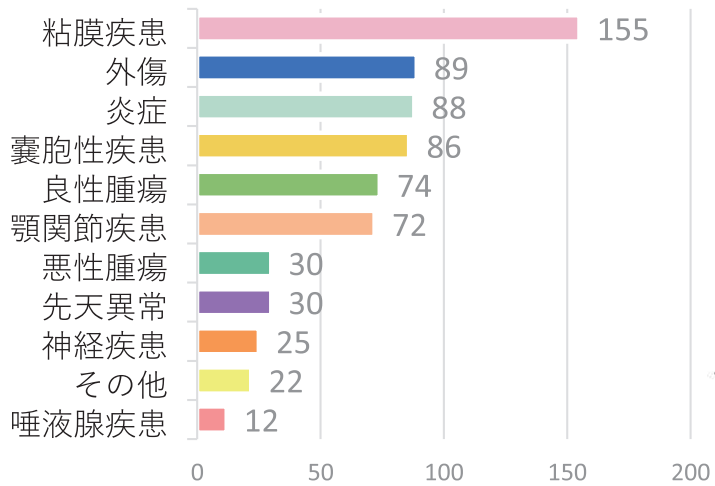
◆部長・教授 深野 英夫 より

新年度は、大きな人員の異動はなく、初期研修医2名と常勤の歯科衛生士を迎えます。コロナ対策は常態化してきて、口腔外科外来は大分落ち着きを取り戻してきました。さらには、災害時対応について各医師会・歯科医師会との連携強化が急務のように思われます。今後ともご指導をよろしくお願い致します。

◆2023年度の主な実績

外来延患者数	16474
初診患者数	3262
入院延患者数	2678
手術件数	421
外来小手術件数	1897

歯科疾患を除いた初診症例 (件)



深野 英夫



菱田 純代

new face

02

研修医：志賀 聡史



4月から新たに歯科研修医で歯科口腔外科に加わりました。歯科医師として初めて患者さんに対する立場となり、不慣れな点も多く、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、できる限り早く皆様のお役に立てるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

歯科衛生士：三浦 まどか



はじめまして。4月から入職しました、歯科衛生士の三浦まどかと申します。出身は愛知県で、九州歯科大学出身です。今年の3月まで地元の市民病院で勤務しておりました。大学時代はバレーボール部に所属しておりました。旅行が趣味で、これからも様々な所に行ってみたいです。患者さんには丁寧で思いやりのある対応に心掛け、全身的な健康のサポートに少しでも貢献できるように精進し、さらに飛躍できるよう努めて参りたいと思います。よろしくお願い致します。

03 seminar

第15回 周術期口腔管理セミナー

セミナーは、当院の特徴である「陽子線治療」についてのご講演を再度予定しております。

2024年7月4日 (木) 18:00～

ぜひご参加ください



谷口 弘樹



加藤 伸一郎